

令和6年度 測量士補試験 問題と解答 水準測量 (No12)

<No12 : 水準測量>

公共測量により水準点A, B間で1級水準測量を実施し, 表12に示す結果を得た。温度変化による標尺の伸縮の影響を考慮し, 使用する標尺に対応する標尺補正計算を行った後の水準点A, B間の観測高低差は幾らか。最も近いものを次の1~5の中から選べ。

ただし, 観測に使用した標尺の標尺改正数は, 20°Cにおいて+10  $\mu$ m/m, 膨張係数は+1.5 $\times$ 10<sup>-6</sup>/°Cとする。

なお, 関数の値が必要な場合は, 巻末の関数表を使用すること。

表12

路線方向	観測距離	観測高低差	気温
A → B	2.0 km	-50.0000 m	28°C

1. -50.0046 m
2. -50.0011 m
3. -50.0005 m
4. -49.9999 m
5. -49.9989 m